

循環式浴槽等維持管理状況報告書の記入上の注意

【全体】

- ◇ 実施している（適合） ⇒ 「○」
- ◇ 実施していない（不適合） ⇒ 「レ」
- ※不適合「レ」の内容及びその後の改善措置等を余白や備考欄に記入してください
- ◇ 設備がない（該当なし） ⇒ 「－」
- ※「空白」や、チェック済みという意味で「レ」と記入してしまう間違いに注意してください
- ※記録票・検査結果等は「写し（コピー）」を添付してください

【点検項目1】

- ◇ 0.4mg/L以上保持で「○」⇒残留塩素濃度の測定記録を添付してください。
- ※モノクロミンを使用した消毒の場合は、3mg/L程度に保持すること
- ◇ 循環系統毎に1日3回程度測定をしてください。

【点検項目2】

- ◇ 1日1回以上の換水で「○」
- ◇ 残留塩素濃度を保持せずに水を貯めないでください。

【点検項目3】

- ◇ 集毛器が無い施設は「－」
- ◇ ろ過器カートリッジが集毛器の役割をする施設では、カートリッジの掃除が必要となります。

【点検項目4】

- ◇ ろ過器に逆洗浄機能が無い場合でも、点検項目5の循環配管と一緒に消毒している場合は「○」とします。

【点検項目5】

- ◇ 実施日を記入してください。添付の記録票で実施日が判る場合は、「別紙」でもOKです。
- ◇ 薬剤で消毒する場合、薬品名は成分名（次亜塩素酸ナトリウム等）を、濃度は薬剤原液の濃度ではなく、消毒時の浴槽での薬剤濃度を記入してください。配管消毒は5～10mg/Lで数時間が目安です。消毒中の残留塩素濃度について、残留塩素濃度測定器での測定が困難な場合は、残留塩素濃度測定試験紙（5～10mg/Lの濃度が判定できるもの）の利用をご検討ください。
- ◇ 高温水で消毒する場合は、60℃以上で数時間、配管消毒を行ってください。

【点検項目6】

- ◇ 年に1回（以上）、定期的実施してください。検査の結果、レジオネラ属菌が不検出であった場合は、毎月の報告に合わせて結果書の写しを添付してください。
- ◇ 検査の結果、レジオネラ属菌が検出された場合は、直ちに保健所へご連絡ください。

【点検項目7、8】

- ◇ 温泉を貯留する貯湯槽がない施設は、「－」と記入してください。

記録票1

施設名称
施設所在地
番地

__月__日 循環式浴槽等維持管理状況報告書

循環式浴槽等の維持管理状況について、下記の通り報告します。

記

◎ 維持管理状況表記録票

NO.	点検項目	判定
1	浴槽水の残留塩素濃度は0.4mg/L以上を維持しているか。(※)	
2	浴槽水、1日1回以上換水・浄水しているか。	
3	集毛器は、毎日清掃を行い、定期的な洗浄・消毒を行っているか。	
4	ろ過器は、1回間に1回以上の清掃・洗浄・消毒を行っているか。 ◎ 集毛器(集毛器なしの場合) ◎ 配管洗浄(配管洗浄なし) : 1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12	
5	浴槽水の消毒方法は、1回間に1回以上の換水での消毒も実施しているか。 ◎ 薬剤(モノクロミン等) ◎ 熱湯(60℃以上) : 1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12	
6	浴槽水のろ過器の清掃・洗浄・消毒は1回間に1回以上実施しているか。 ◎ 集毛器(集毛器なしの場合) ◎ 熱湯(60℃以上) : 1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12	
7	浴槽水のレジオネラ属菌の検査は1回間に1回以上実施しているか。 ◎ 集毛器(集毛器なしの場合) ◎ 熱湯(60℃以上) : 1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12	
8	温泉を貯留する貯湯槽は、1回間に1回以上換水・浄水しているか。 ◎ 集毛器(集毛器なしの場合) ◎ 熱湯(60℃以上) : 1:2:3:4:5:6:7:8:9:10:11:12	

◎ 備考欄

1. 浴槽水検査時の消毒方法を記載、(浴槽の消毒・換水・清掃の日時)

2. レジオネラ属菌検査結果(陽性)

3. 温泉の温度(60℃以上)を記載、(浴槽の換水・消毒の日時)

4. その他(施設名称、施設所在地、施設長名、電話番号、FAX)

(国) 東京都 保健所 衛生環境衛生課 環境衛生課 担当
〒 電話 FAX

1. 検査方法
○ 適合
レ: 不適合 (不適合項目の検査結果を記録票に記入してください)
-: 該当なし

検査者
記録票番
FAX

(※)モノクロミンを使用した消毒方法は5mg/L程度